

## 場所、時に付く「で」「に」

### 1. 場所 で V

動作・作用の行われる場所を表す。

- (1) 図書館で本を読む。
- (2) 四川省で大地震が発生した。

### 場所 に V

存在の場所を表す。

- (3) 東京に住む。
- (4) 事務所に人が居る。

動作・作用の帰着点を表す。

- (5) 駅に着く。
- (6) 家に帰る。

動作・作用の進む方向を表す。

- (7) 南に向かう。

「で」「に」両方使える場合。意味が異なる場合もある。

- (8) 横浜で家を買った……購入契約をした場所が横浜。  
横浜に家を買った……買った家が横浜にある。
- (9) 大連で作られた設備……大連の工場で製造された設備。  
大連に作られた設備……大連に設置された設備。
- (10) 河原で石を投げる……河原で石を投げて遊ぶ  
河原に石を投げる……河原に向かって石を投げる
- (11) 北京で生まれた  
北京に生まれた      意味はほとんど同じになる
- (12) 人混みで消えた  
人混みに消えた      意味はほとんど同じになる

2. 時 で V

「にて」の音変化と見なされていて、動作・作用の行われる時を表す。

- (1) 来月の3日で12歳になる
- (2) 今日の授業は3時で終了します。

時 に V

動作・作用の行われる時を表す。

- (3) 来週の月曜日に学校へ来てください
- (4) 10月3日にオープンします

「で」には範囲、範囲の終わりを表す働きがある。

- (5) 仙台には2時間で着きます ○  
仙台には2時間に着きます ×
- (6) 受け付けは、7月10日で終了します ○  
受け付けは、7月10日に終了します ○

下記の例では、「十五歳」が、時を表していないため「に」は使用できない。

- (7) 十五歳で高校に入学した ○  
十五歳に高校に入学した ×

「十五歳の時」とすれば「に」を使えるようになる。但し、この場合には「に」は省略可能。

- (8) 十五歳の時に高校に入学した ○  
十五歳の時、高校に入学した ○